

今 建設業が



おもしろい

一緒にものづくりに参加してみませんか？

**群馬県建設業協会って
こんなに変わりだしたんだ!!**

4つ葉のクローバー・地域建設業の魅力・環境すみずみパトロール隊・女性の視点・工事現場の5S・産学官・キャリアパス・マスコットキャラクター・身近な建設業・のびろ!ぐんケンくん・ストレッチ体操・国土強靱化・ぐんケン見張るくん・新災害情報共有システム・Twitter・SNSの活用・広報戦略・道路クリーン作戦・災害訓練・建設業の「3本の矢」・設計労務単価・一般管理費引き上げ・処遇改善・外国大労働者・大雪災害・担い手3法・適正利潤の確保・グレス工程・意見交換会・事業量平準化・流通在庫備蓄・イメージアップ・施工技術発表会・ものづくり・技術講演会・専門工事業の訓練施設・インターンシップ・新入社員研修・マナーアップ・コンプライアンス・労働災害撲滅・快適職場・広域連携 …



ぐんケンくん

むずかしいことをやさしく・やさしいことをより深く・深いことを楽しく

国民への理解促進を業界の外側から進める

4つ葉のクローバー2014

～地域建設業の魅力を再発見～



女性 若者
IT 環境

女性

安全で健康な職場づくりで入職促進！

環境すみずみパトロール隊

環境すみずみパトロールの実施

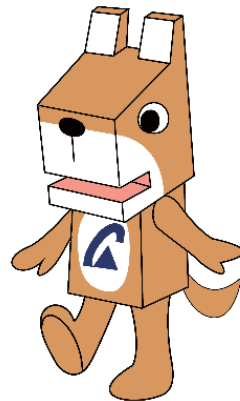
- 女性の視点から安全で快適な職場環境、よりよいものづくりを考える
- 現場事務所・休憩所、工事現場内、仮設トイレ、車、身なり服装をチェック
- 参加者・・・平成25年度111人、平成26年度98人(行政からの参加者含む)



工事現場の5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を厳しくパトロール。パトロール終了後には「点検済」のステッカーを貼って差別化をし、意識向上につなげています。

他県からの視察依頼や発注者との合同パトロールなどの取組みが広がる中、若手人材確保の突破口としても、今後ますます期待される活動です。

佐賀県や徳島県でも同様のパトロールで女性が活躍しています。



安全大会への参加

- 各支部の安全大会に参加
- 平成26年度は、労働災害防止総決起大会において災害撲滅への決意を表明



道路クリーン作戦への参加

- 県内全域で地域貢献活動に参加



その他

- 国土交通省利根川ダム統合管理事務所の安全パトロールおよび安全発表に参加
- 国土交通省関東地方整備局との意見交換会において取組みの紹介
- 新潟県建設業協会十日町支部、福島県建設業協会相馬支部からの視察

若者

建設業の仕事や魅力をわかりやすく伝える活動

産・学・官の連携

冊子「地方の建設業ってこんなに変わりだしたんだ!!」

- 建設業の仕事や、建設業をとりまく環境、群馬県建設業協会のとりくみなどをわかりやすくまとめた冊子
- 実際の技術者の一日の作業フローやキャリアパスなどを紹介

県内建設系高校での説明会

- 群馬県主催の説明会に講師を派遣



若者

建設業を身近に感じてもらうために活躍中!

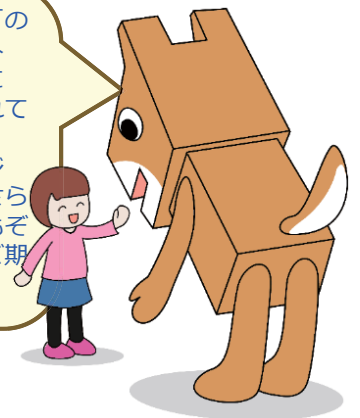
(一社)群馬県建設業協会 マスコットキャラクター「ぐんケンくん」

プロフィール

愛称	ぐんケンくん (男)
誕生日	5月16日
年齢	群馬県内の工業高校を卒業したばかり
性格	真面目、負けず嫌い
特技	ぐんケン体操
趣味	木工細工などのものづくり
好きな食べ物	焼きまんじゅう、おっきりこみ

どこに行っても人気者。「のびろ!ぐんケンくん」はストレッチ体操なので朝の体操にピッタリです。ぜひ取り入れてみてください。

今後は、建設業のイメージアップのために活動の場をさらに広げていきます!グッズもぞくぞくと増える予定なのでご期待ください!



活動状況

- 群馬県建設業協会主催イベントへの参加や、県内の幼稚園や学校を訪問
- ゆるキャラグランプリ2014 総合71位 (企業部門17位)



関連グッズなど

- 着ぐるみ
- ぐんケン体操「のびろ!ぐんケンくん」CD/DVD...JOYSOUNDにてカラオケ配信中
- ペーパークラフト
- ボールペンなどのステーションナリーグッズ
- 現場用仮設シート

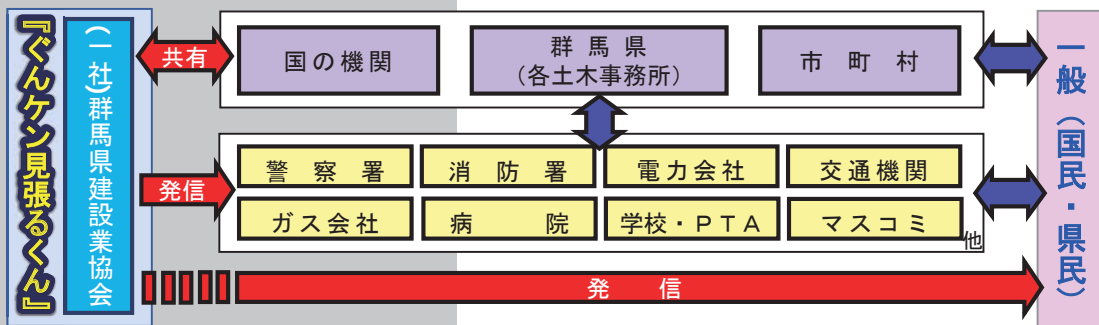
IT

国土強靱化へのソフト面（災害情報）からの対応

新・災害情報共有システム「ぐんケン見張るくん」

災害時の情報体系における群馬県建設業協会の役割

- 災害現場の正確な情報を行政機関やその他公共機関、国民・県民に向けてわかりやすく円滑に発信



「IT」と地域に密着した建設業343社のネットワークを組み合わせ、安心・安全な体制づくりに貢献します！



システムの概要

- IT環境の変化を受けて「GPS携帯による災害情報共有システム(H20～)」を再構築
- 民意主導・独自のシステムとして平成26年12月18日から運用開始
- 災害対応への実績が高い建設業協会からの確実な情報
- 災害情報や道路パトロールなどの動態管理（位置情報、文字情報、画像・動画情報）
- 情報はシステム利用者（国、県、市町村、建設業協会）と瞬時に共有
- SNS（Twitter）への展開

建設業協会員
(システム利用者)

国・県・市町村
(システム利用者)

群馬県建設業協会
(システム管理者)

一般
(国民・県民)



IT

マスメディアでは取り上げられにくい地道な活動を発信

群馬県建設業協会Twitter

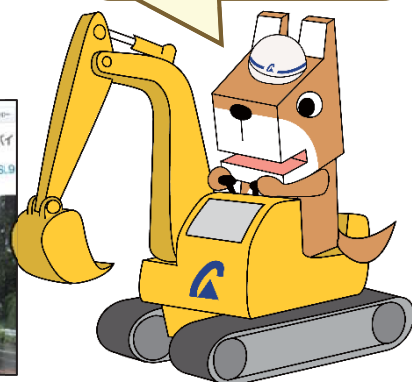
Twitterは新たな情報発信ツールとして注目されています。大雪時の投稿では、たくさんの応援メッセージが届きました。

H26年2月の大雪災害をきっかけにスタート

- 「行政との情報の共有」から「人とのつながりで広がる情報」へ
- 口コミ効果による情報の拡散（SNSの効果）
- 建設業の地道な活動を発信
 - ・ 災害パトロール
 - ・ 道路クリーン作戦
 - ・ 環境すみずみパトロール など

(左)2/22投稿
夜を徹した除雪作業で上野村孤立集落まであと100m

(右)8/10投稿
台風11号 沼田市利根町 国道120号 椎坂バイパス 災害なし



環境

建設業の役割を「環境」をテーマにわかりやすく表現 道路クリーン作戦

昭和63年から続く、県下一斉に行う清掃活動

- 毎年5月30日（ゴミゼロの日）に実施
- 協会の車両、機械、作業員を提供したボランティア活動
- 知事より感謝状（平成25年10月23日）
- 環境すみずみパトロール隊も平成25年より参加

環境を大切に（平成26年度実績より）

- 作業人数 1,898人 作業車両数517台
- 作業内容：道路清掃，ゴミ・空き缶の除去，カーブミラー清掃
- 回収量：不燃物6,912.7kg，可燃物 10,186.4kg
- 広報：上毛新聞全面広告・記事 群馬テレビ

建設業の「地域に貢献する役割」を県民にアピールする活動。今年(H26)で27回目となり、ボランティア活動として定着しています。

環境すみずみパトロール隊やぐんケンくんの参加で、注目度もますますアップ！



富岡支部



前橋支部



高崎支部



館林支部



安中支部



渋川支部



藤岡支部



太田支部



沼田支部



伊勢崎支部



吾妻支部



桐生支部

災害訓練を兼ねて実施

- 災害情報共有システムを利用して県内各地の作業状況を把握
- システムの利用訓練（災害訓練）を兼ねる（情報送信、情報処理、情報管理、Twitter投稿、情報閲覧など）

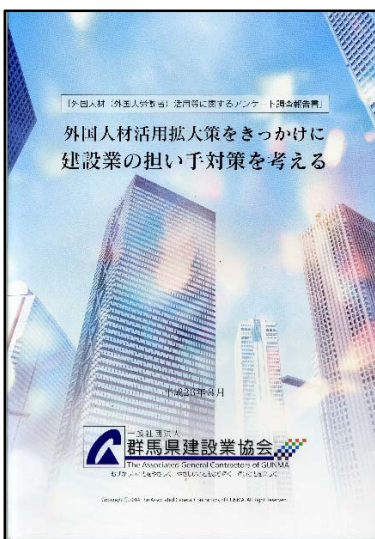
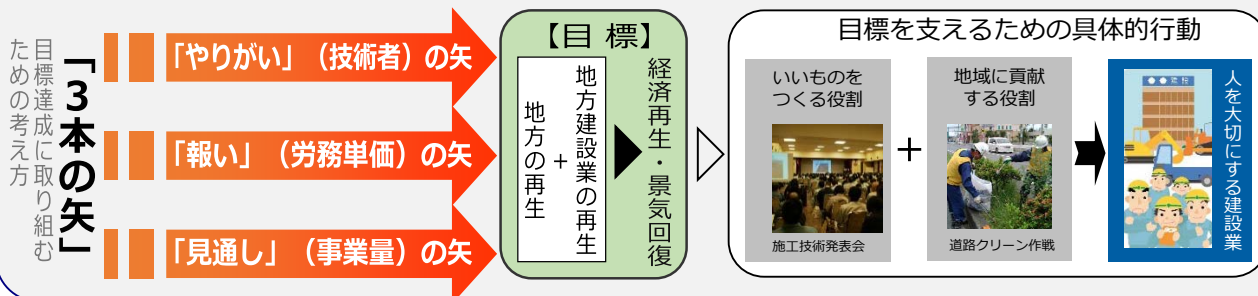
災害時や不測の事態が起きた時、よりスムーズな対応ができるように、クリーン作戦活動時に定期訓練を行っています。

常日頃から「地域を守る建設業」であることを忘れないためにも必要な訓練です。

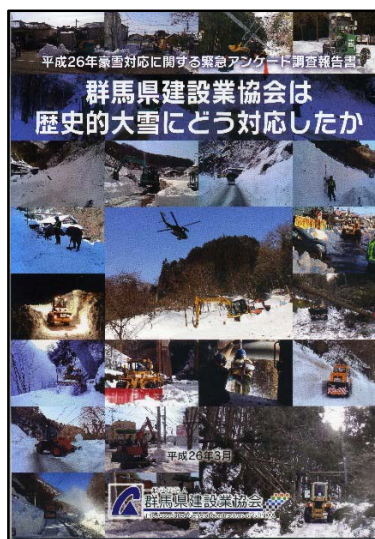


各種アンケート調査結果を踏まえた 群馬県建設業協会の要望・提言活動

ようやく吹き出した前向きな風を確実なものにするための行動指針



「外国人材(外国人労働者)活用等に関するアンケート調査報告書」
～外国人材活用拡大策をきっかけに 建設業の担い手対策を考える～

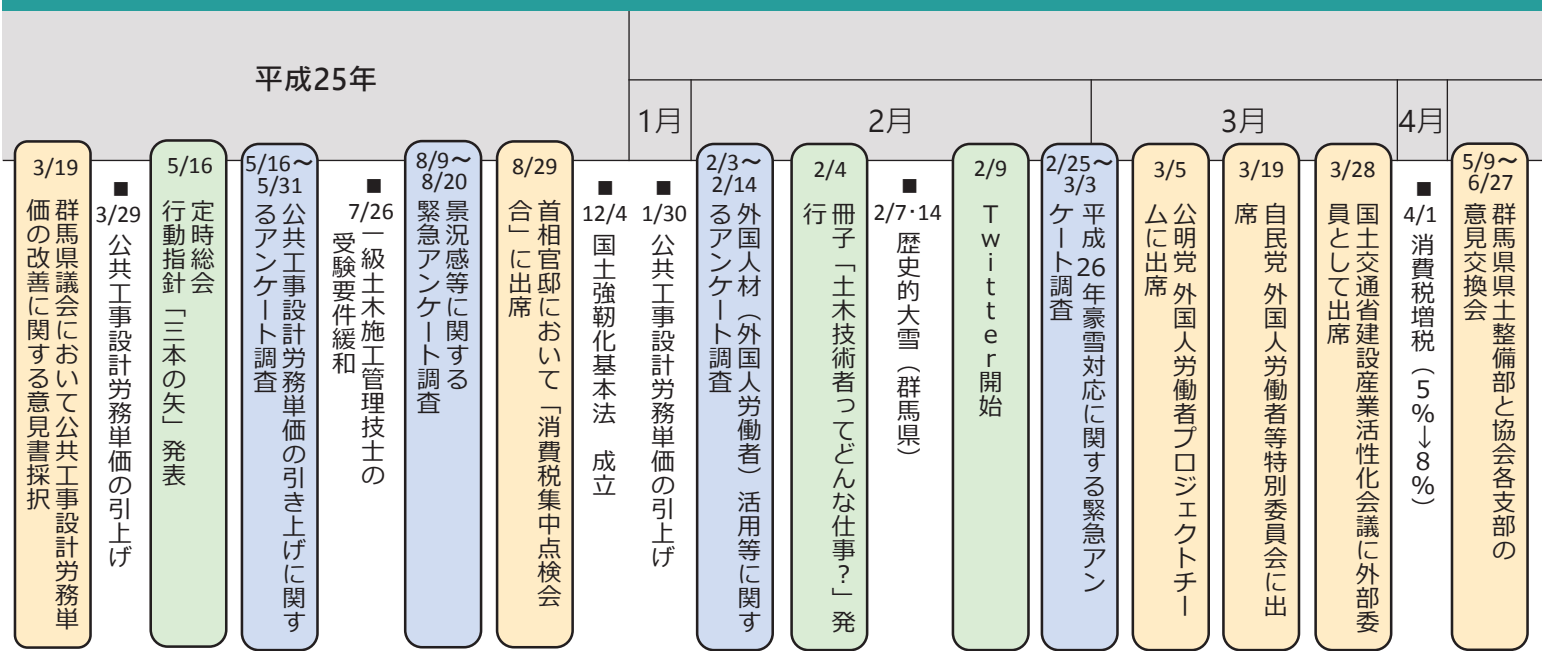


「平成26年豪雪対応に関する緊急アンケート調査報告書」
～群馬県建設業協会は歴史的大雪にどう対応したか～



「担い手3法に関するアンケート調査報告書」

主な協会活動の流れ

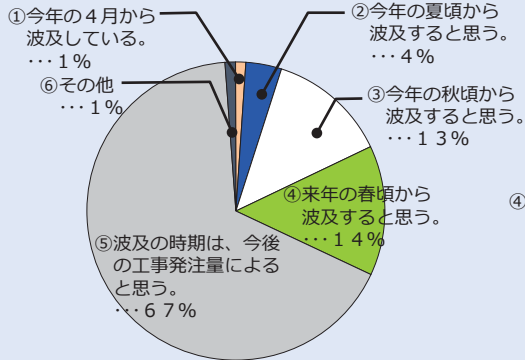


要望・提言活動

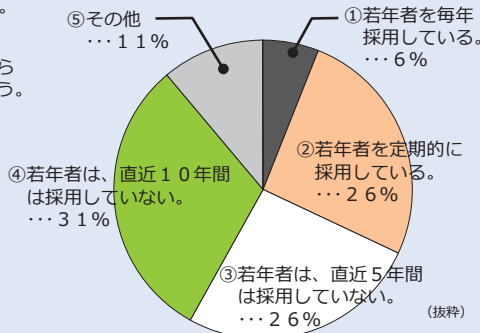
公共工事設計労務単価の引き上げ等に関するアンケート調査報告書 調査日 H25.5.16～5.31 回答 307社（342社中） ～若者の入職を増やし、技術の伝承を図るために～

協会員が設計労務単価の引き上げをどう受け止めているか

【労務単価の引上げの波及状況予測】



【若年者（24歳以下）の採用状況】



【記者会見の様子】

消費税集中点検会合 開催日 H25.8.29 / 首相官邸にて

アンケート結果をもとに消費税増税に対する地方建設業の考え方を発言

景況感等に関する緊急アンケート調査（調査日H25.8.9～8.20）

346社中 回答326社 / 群馬県建設業協会調べ



【会合の様子】



【H25.8.29 テレビ東京WBS1】

【アンケート結果をうけた群馬県建設業協会の総論】

- ① 消費税増税は財政再建の第一歩。メリット・デメリットを考えた消去法であっても進めるべき。
- ② 進めることは中長期的な公共事業量の確保につながり、疲弊した転換期にある業界の再構築になる。
- ③ 「3.11東日本大震災」の教訓を風化させずに、国土の強靱化を具体的な計画を立てて進めるべき。また、激化する国際間競争、地域間競争に打ち勝つためには、インフラ整備が必要。
- ④ 公共事業に対する国民の正しい理解を得るため、「真に必要な事業の選別」、「技術と経営に優れた企業が生き残っていく調達の仕組み」へのあくなき取り組みが必要。

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月							
5/16 定時総会 「4つ葉のクローバー」発表	5/16 マスコミトキョウロク「ぐんけんく」発表 5/29 担い手3法の改正 6/3 国土強靱化基本計画閣議決定	7/4 冊子「地方の建設業ってこんなに変わったんだ！」発行	7/14 県内専門工事業者の訓練施設視察	8/12～8/28 担い手3法に関するアンケート調査 8/20 広島土砂災害	9/10 国交省関東地方整備局との意見交換会	9/26 第3回技術講演会	9月～11月 環境すみずみパトロール実施	10/21～10/24 景況感、消費税増税に関する緊急アンケート調査	10/29 人材確保・育成コンソーシアム企画運営会議に参加	11/14 第6回施工技術発表会	11/14 首相官邸において「今後の経済財政動向等についての点検会合」に出席	12/18 新・災害情報共有システム「ぐんけん見張るくん」運用開始 12/24 第3次安倍内閣	1/30 公共工事設計労務単価の引上げ	2/3～2/12 等に関するアンケート調査

外国人材（外国人労働者）活用等に関するアンケート調査報告書

調査日 H26.2.3～2.14
回答 304社（345社中）

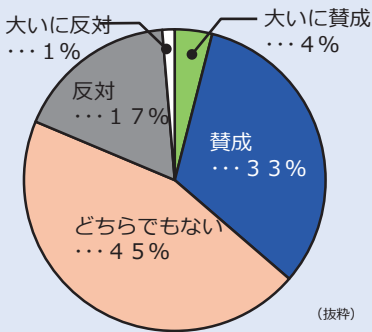
～外国人材活用拡大策をきっかけに、建設業の担い手対策を考える～

協会員が若手人材確保と外国人材活用についてどう考えているか



【記者会見の様子】

【外国人材活用拡大策について】



【アンケート結果をうけた群馬県建設業協会の提言・要望】

- ①外国人材の拡大は、両刃の剣。悪影響は最小限に…
- ②過剰時代にできた現制度下では、若年者の入職促進は困難
- ③建設業界をあげて雇用改善に努力する必要がある
- ④災害列島の下で、全地球的な地域間競争に打ち勝つには、社会資本の整備、建設業の役割が大事なことを理解してほしい
- ⑤中長期的な展望に立った施策の展開

平成26年豪雪対応に関する緊急アンケート調査報告書

調査日 H26.2.25～3.3
回答 309社（345社中）

～群馬県建設業協会は、歴史的大雪にどう対応したか～

平成26年2月の大雪で、除雪作業に対応した作業員は累計23,072人、使用した機械の延べ台数は11,651台。今後も除雪体制を維持し、「地域に貢献する役割」を果たしていくためにはどうしたらよいか。

【アンケート結果をうけた群馬県建設業協会の提言・要望】

- ①今回の教訓を活かした大雪に強い社会づくりの推進
- ②道路除雪は、地域の理解と協力が必要
- ③建設業の現在の除雪体制（要員・除雪機械）は、建設業の本業が安定しないと維持は困難
- ④道路（社会資本）は、県民の生活や経済活動の重要な基盤
- ⑤道路除雪体制を維持する効果



【除雪対応の様子】

群馬県県土整備部と協会各支部の意見交換会 H26.5.9～H26.6.27

～地方の建設業の現状や要望について、支部ごとにきめ細かく意見交換～



5月9日 沼田支部



5月15日 吾妻支部



5月20日 前橋支部



5月21日 藤岡支部



5月22日 伊勢崎支部



6月17日 高崎支部



6月18日 富岡支部



6月18日 安中支部



6月20日 渋川支部



6月23日 太田支部



6月24日 館林支部



6月27日 桐生支部

群馬県県土整備部との総括意見交換会（平成26年9月26日）

各支部での意見交換会を受けて実施する意見交換会の総まとめ。要望や質疑に対する回答も用意される。

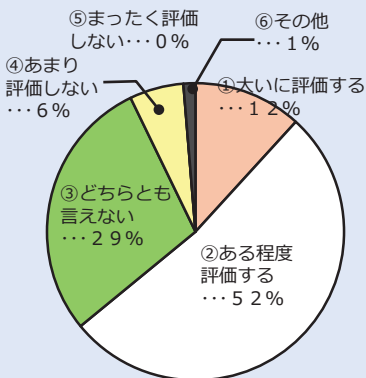
担い手3法に関するアンケート調査報告書 調査日 H26.8.12～8.28

回答 307社（344社中）

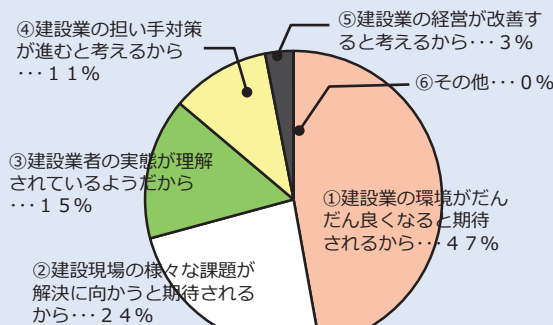
～受発注者双方にとって画期的な法改正に対する浸透度を高める～

協会員が担い手3法（品確法、入契法、建設業法）改正をどう受け止めているか

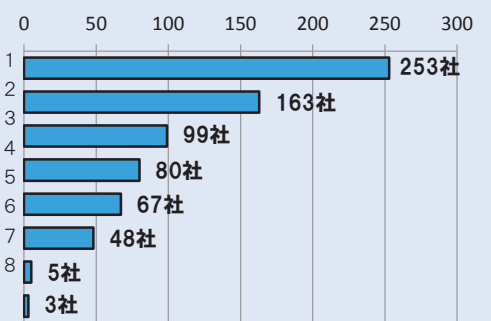
担い手3法の評価



「大いに評価」「ある程度評価」を選択した理由



担い手3法が改正目的にそって施行されるための必要事項（3つ以内で選択）



【調査結果の分析】

- ①受発注者双方に担い手3法への理解を深める努力が必要
- ②適正な利潤の確保には、収益性阻害要因の解消が必要。改正品確法に基づく運用指針の策定に際して、解消意ルールを具現化することが重要になる。
- ③若手技術者・技能者の育成・確保は喫緊で取り組むべき課題である。

1. 公共事業予算額が安定し、計画的に工事が発注できること
2. 担い手3法の順守を目的に、発注者・受注者が互いに努力
3. 国土交通省が、出先、他の官庁、県、市町村に指導を徹底
4. 請負契約の片務性が解消され、互いに権利を主張出来ること
5. 建設現場を担当する公務員が法改正を理解し、順守すること
6. 各発注者の職員体制（職員数、能力）を充実すること
7. 発注者の現場監督員等の契約外の要望を聞かないこと
8. その他

今後の経済財政動向等についての点検会合

開催日 H26.11.14 / 首相官邸にて

アンケート結果をもとに消費税増税(8% → 10%)に対する地方建設業の考え方を発言

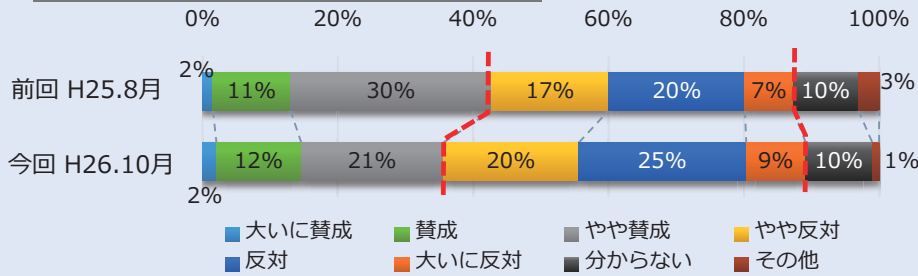


【会合の様子】

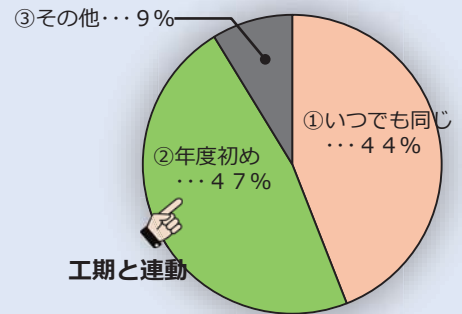
景況感、消費税増税等に関する緊急アンケート調査 (調査日H26.10.21~10.24)

343社中 回答296社 / 群馬県建設業協会調べ

消費税率10%への引き上げに関する総合意見

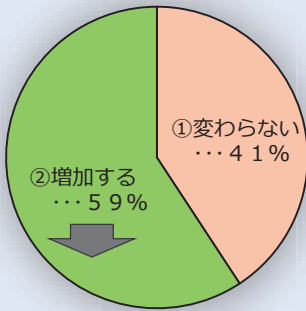


【消費税率の引き上げ時期】

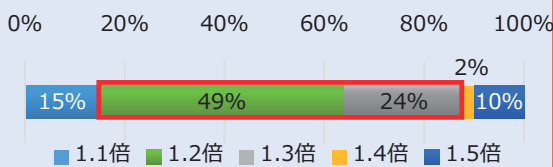


工期と連動

施工量の増加 (発注時期が平準化した場合)



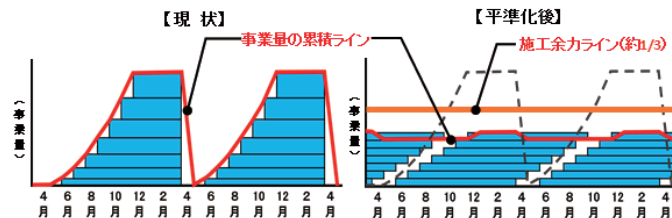
「増加する」を選択した社の増加の割合



【アンケート結果をうけた群馬県建設業協会の総論】

- ①災害応急対策を含めて、担い手対策は待たなしの状況。「財政の健全化による計画的な公共投資」のためにも8%から10%の引き上げは予定通りに進めてもらいたい。
- ②増税による変化などを補うものとして、地方に配慮した景気対策（機動的な補正予算、減税、給付金制度など）が必要。
- ③さらには「工事費の安定化」「適正利潤の確保」「施工余力の確保」を目的とした「工事の平準化」を提案。特に4、5、6月に向けた「納期の平準化」は効果があると思われる。

事業量平準化のイメージ図



共通工程表(グレス工程支援システム)等に関するアンケート調査報告書

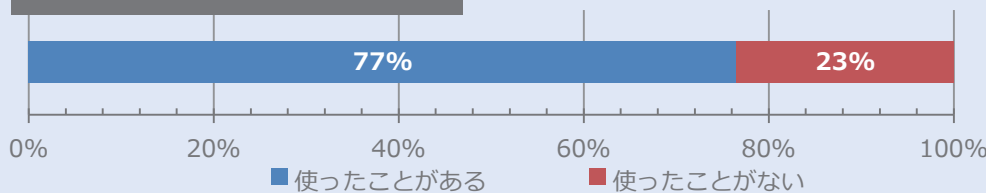
調査日 H27.2.3~2.12

回答 64社 (66社中)

～担い手3法の施行を契機に受発注者間の工程管理の共有化・工期の短縮を考える～

平成22年度から取り組んでいるシステムが、現場でどう評価されているか

グレス工程支援システムの使用について



アンケート調査結果に基づいた説得力のある資料をもとに、様々な意見交換会や会合の場で要望・提言活動を行っています。

また調査結果を踏まえた記者会見を行い、建設業への理解促進に努めています。



【調査結果の分析】

- ①活用した全体評価は、経営者の立場、技術者の立場とも「期待していたほど効果なし」が4割で最多。「大いに効果あり」「やや効果あり」は2割～3割程度。
- ②動機・目的別では「発注者との意思疎通」「工期短縮」といった選択をした企業において評価が高い。
- ③今後の活用については「メリットの追加」や「システムの改良」などの条件付きで「使う」が約7割、「現状でも使う」を合わせると8割。

その他の取り組み

流通在庫備蓄

～流通システムが発達した時代に対応した、実効性のある災害対応～

東日本大震災の経験より

燃料をはじめブルーシートや大型土のう袋等の災害応急対策資材の不足が広い範囲で発生

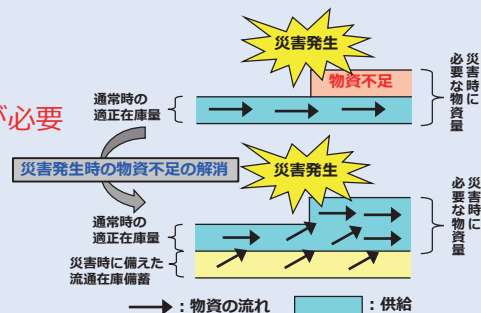
⇒ 災害時の応急対策を担う建設業者として、災害応急資材の一定量の備蓄が必要

災害への備え

- ①ブルーシート 2,000枚
- ②大型土のう袋 1,000枚
- ③土のう袋 20,000枚

流通会社3社との協定

⇒ 実効ある広域連携を図り、巨大災害に対する備えを一步でも強める



カレンダー／ホームページ

～建設業のイメージアップと雇用改善～

建設業協会カレンダー

各支部から建設業に因んだ写真を募集して作成

作成部数：3,000部

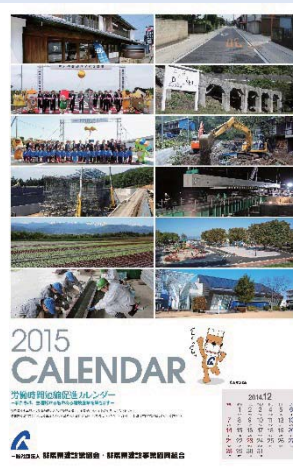
配布先：国、県、市町村、会員 他

建設業協会ホームページ

アクセス数：約100,000件（1日約270件）

ブログ更新回数：約200件

ぐんケンくん専用ページ



カレンダー表紙とホームページトップ

第6回 施工技術発表会

開催日 H26.11.14

いいものを真似をする場を提供

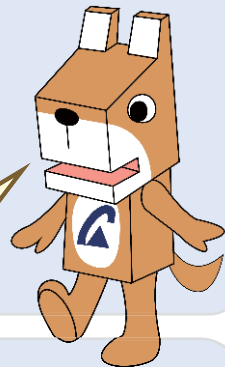
～社会資本の品質を高め、安全で豊かな郷土の発展に寄与する～



会場の様子と入賞者の表彰式

建設現場における様々な取り組み事例を紹介し、会員相互の技術力向上を図る。平成21年から毎年実施。

施工技術発表会、技術講演会ともに毎回多くの聴講者であふれる人気の企画です。
主な来場者は協会の他、官公庁や設計事務所、技術系高校の教師・生徒などさまざま。



第3回 技術講演会

開催日 H26.9.26

～旬な建設工事の現場から学ぶ一流の施工技術～

ものづくりの期待値を高める

平成24年度(第4回)施工技術発表会
11月16日(金) 13:00～16:30
群馬建設会館 大ホール
特別講演 15:30～
東京スカイツリー物語
一昔前の電波塔、東京スカイツリーは如何に建設されたか

東京駅丸の内駅舎 保存・復原工事の記録
2013 10月7日
13:30～15:00
群馬建設会館 大ホール
上浪鉄郎氏

山梨知彦氏講演会
近作を通して考えたこと
9月26日 13:30～15:30
群馬建設会館 大ホール



会場の様子

(左)第1回 (H24.11.16)
「東京スカイツリー物語」
講師：川瀬 俊二 氏
(株)大林組 建築本部副本部長

(中)第2回 (H25.10.7)
「東京駅丸の内駅舎 保存・復原工事の記録」
講師：上浪 鉄郎 氏
鹿島建設(株)

(右)第3回 (H26.9.26)
「近作を通して考えたこと」
講師：山梨 知彦 氏
(株)日建設計 執行役員 設計部門代表

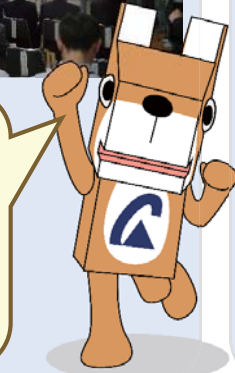
専門工事業者の訓練施設視察 開催日 H26.7.14

～中長期的な視点に立った身近な人材育成の現場を紹介～

経営者自ら危機感を持って立ち上げた訓練施設を
国土交通省幹部とともに視察



人材確保、若手技術者の育成、外国人労働者など、現在建設業で話題のエッセンスが凝縮されている板金工の訓練施設視察を企画。掛け声がひびき渡る迫力ある訓練の見学、作業体験や訓練生との意見交換など、参加者全員にとって有意義な視察となりました。
(全国建設業協同組合連合会、建設業振興基金と共催)



産学官連携会議と 高校生等を対象とした現場実習

～若手技術者の確保と育成を目的とした産学官の連携～



産学官連携会議 H26.6.19

建設業への入職を促進するため、県内技術系高校の生徒や大学生を受け入れています。
富士教育訓練センターでの県外実習には40人の生徒が参加しました。



現場実習（インターンシップ）
8高校1大学・実習生徒数244人・受入会員企業数延74社



新入社員研修 開催日 H26.4.16

～社会人としての基礎知識習得と連帯意識の向上～



建設業に関する基礎知識や職場でのエチケット、円滑な会話・対話のポイントなどを研修。
H26年度参加者:105人 後援:東日本建設業保証(株)群馬支店

建設業の適正取引に関する講演会 開催日 H26.8.8

～建設業を営む企業の資質向上と秩序の確立～



建設業法、独占禁止法、暴力団対策法など建設業取引適正化のための各種法令やコンプライアンスについての講演会 H26年度参加者:310人



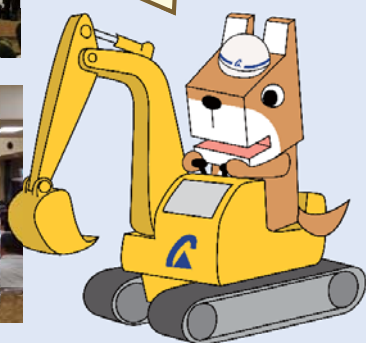
労働災害の防止

～快適職場で安全第一～

建設業労働災害防止総決起大会(H26.8.27)



安全で魅力ある職場を目指して、協会員一丸となって労働災害撲滅に取り組んでいます！



他県からの視察・意見交換

～魅力ある群馬県建設業協会～

群馬県建設業協会独自の取組みについて意見交換



人材確保への取組み「4つ葉のクローバー」について意見交換

新潟県十日町地域振興局・新潟県建設業協会十日町支部との意見交換会 (H26.10.24)



女性の活躍と快適で安全な職場環境について意見交換
福島県建設業協会相馬支部(建災防相馬支部)との意見交換会(H26.11.13)



群馬もぐんぐん・建設業もぐんぐん